

大使館からのお知らせ

<経済・経済協力情報>

在コスタリカ日本国大使館
経済・経済協力班 渡部

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
今月の当館の活動について、ご紹介をさせていただきます。

1. 日本政府の協力により、生物多様性研究所公園（INBioparque）に、火山・地熱発電について学ぶことができる展示室が整備されました。



2012年1月12日、INBioparque に整備された展示室前において、完成式典が開催されました。

式典は INBio 主催により開催され、INBio のガメス会長とエルナンデス所長、環境エネルギー通信省（MINAET）のゲバラ環境次官、電力公社（ICE）のマイニエリ地熱開発部長他約50名の政府関係者が出席し、当館は並木大使が招待され出席をしました。

日本はコスタリカと同じく火山国で、地熱を発電・観光・農業などに有効活用していること、コスタリカで初めて作られた地熱発電所は、日本政府・日本企業の協力により実現したものであることから、火山・地熱発電のみならず、日本を理解してもらえる良い機会であると考え、当館は、INBioparque の展示室整備に協力を行いました。

この展示室は、映像、音・光・振動など体感により学べる施設となっています。展示室の近くには、昨年1月に秋篠宮同妃両殿下が植樹された、「コルテサ・アマリージャ」も見ることができます。是非、INBioparque を御訪問ください。

なお、9時から17時30分（入園は16時まで）の間、毎日開園していますが、2月5日以降は、金、土、日曜日のみ開園となりますのでご注意ください。

2. 牧野経済産業副大臣が、日本とコスタリカの経済関係促進のため、コスタリカを訪問し、コスタリカの閣僚と会談を行いました。



昨年12月、牧野副大臣は、チンチージャ大統領訪日に同行したゴンサレス貿易大臣と会談を行い、両国の経済関係の促進のため、コスタリカ訪問を決断。翌月となる1月15日から17日の間、コスタリカを訪問し、閣僚会談、進出日本企業との意見交換、企業視察を行いました。

1月16日、牧野副大臣は、ゴンサレス貿易大臣、カストロ環境エネルギー通信大臣と会談し、コスタリカが進めている「水力、地熱などの再生可能エネルギーによる発電」、「バス、タクシーのエコカーへの転換」などについて、日本は高い技術・経験を有しており、両国が連携し、地球規模の課題である気候変動対策に貢献していくこと、両国の投資、貿易を促進するため、日本においてセミナーを開催することに合意しました。

また、中米でご活躍されている日本企業の方々に、ご参集いただき、意見交換を行い、コスタリカで工場を操業されているパナソニック、ブリヂストン両社と、インテル社のマイクロ・プロセッサ製造現場を視察しました。

コスタリカ政府は、2021年までに「カーボン・ニュートラル」（炭素中立化）を実現するという目標を掲げており、日本は、この目標を支援する協力を実施しています。現在、国際協力機構（JICA）は、グアナカステ県において、地熱発電所建設のための調査を実施しています。後に、日本の企業により、コスタリカに新たな地熱発電所が建設されることが期待されています。

お問い合わせは大使館 経済・経済協力班 渡部まで

TEL: (506) 2232-1255 e-mail: fujitaka.watabe@mofa.go.jp